Human Development and Education

# 発達教育学研究 16

Kyoto Women's University Graduate School of Human Development and Education 京都女子大学大学院 発達教育学研究科博士後期課程研究紀要

# N S 和4年

Kyoto Women's University

京都女子大学

## 目 次

An Analytical Framework for the Plurality of Literacy
リテラシーの多元性に関する分析枠組み構築の試み
河内 真美 Mami KAWACHI ····································
Development of the Subjective Cognitive Decline Scale: Historical and Conceptual
Review
主観的な認知機能の低下を測定する尺度開発に関する展望
前田 紗彩 Saaya MAEDA
岩原 昭彦 Akihiko IWAHARA ······11
University Life in the Time of COVID-19: The Academic and Socioemotional
Experiences among Female University Students in Japan
ウイズコロナ時代の学生生活:日常生活の変化と大学教育への評価
吉村 英 Masaru YOSHIMURA ······23

#### 京都女子大学大学院発達教育学研究科博士後期課程研究紀要

#### 【投稿規定】

- 1. 本誌は、京都女子大学大学院発達教育学研究科博士後期課程の紀要として、年1回発行する。
- 2. 本誌は、本課程の領域に関する研究論文、研究報告、評論、書評、及び発達教育学研究科の教育研究活動に関する情報、その他を掲載する。
- 3. 本誌への投稿資格は次のとおりとする。
  - (1) 京都女子大学大学院発達教育学研究科博士後期課程専任教員
  - (2) 上記専任教員を論文の共著者とした研究分担者
  - (3) 本課程の大学院生で指導教員または指導補助教員の承認を得た者
  - (4) 本研究科の大学院研修者で指導教員の承認を得た者
  - (5) その他、本課程が特に認めた者
- 4. 本誌に発表する論文等は、いずれも他に未発表なものに限る。他で審査中あるいは掲載予定となっているものは、二重投稿とみなし、本誌での発表を認めない。
- 5. 論文等を本誌に掲載するにあたり、執筆者は他者の著作権等を尊重しなければならない。そのために必要な手続きは、執筆者が自ら行うものとする。
- 6. 本誌に掲載された論文等は、原則として全文またはその一部を電子化し、京都女子大学学術情報リポジトリサーバあるいはその他のコンピューターネットワーク上で公開する。
- 7. この規定は、平成29年4月1日より施行する。

### **発達教育学研究** 京都女子大学大学院 発達教育学研究科 博士後期課程研究紀要

第16号

2022 (令和3) 年3月15日発行

- 編 集 京都女子大学大学院 発達教育学研究科
- 発 行 京都女子大学

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35

電話 075-531-7051 (代表)

印 刷 株式会社 昭 英 社

〒600-8119 京都市下京区五条通河原町西入ル

電話 075-351-1811 (代表)

An Analytical Framework for the Plurality of Literacy リテラシーの多元性に関する分析枠組み構築の試み

河内 真美 Mami KAWACHI

Development of the Subjective Cognitive Decline Scale: Historical and Conceptual Review 主観的な認知機能の低下を測定する尺度開発に関する展望

前田 紗彩 Saaya MAEDA 岩原 昭彦 Akihiko IWAHARA

University Life in the Time of COVID-19:

The Academic and Socioemotional Experiences among Female University Students in Japan

ウイズコロナ時代の学生生活:日常生活の変化と大学教育への評価

吉村 英 Masaru YOSHIMURA

Kyoto Women's University

京都女子大学